

まず「地方分権改革」とは何かを見てみよう!



「地方分権改革」は、

- ①住民に身近な行政は、地方自治体が自主的かつ総合的に担う
- ②地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことを目的に進められています。



①住民に身近な行政は、地方自治体が自主的かつ総合的に担う



Q 現状はどうなっているの?

A 地方自治体とは、県や市町村のこと。福祉や教育など、住民に身近な行政サービスを担っているけれど、現状では国に権限や財源が集中していて、自主的、総合的な行政を十分に行えていないんだ。このことを「地方分権」に対して「中央集権」とも呼ぶよ。

国⇄地方



Q 住民に身近な行政でも国が一律に様々な関与をしているということ?

A そのとおり。地方自治体が地域の実情を踏まえた対応がしにくいことや、国と地方自治体が似たようなサービスを提供している(二重行政)といった問題が指摘されているんだ。



Q 「地方自治体が自主的かつ総合的に担う」ためには、どうしたらいいの?

A 国と地方自治体の役割分担を明確にした上で、各々の役割に見合った権限や財源を配分し、ムダなく時代の変化に対応する仕組みをつくる必要があると考えられているよ。



②地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組む



Q これはどういうことなの?

A 地域住民が主体的に地域の課題に関心を持ち、自治体運営に自らの意見や判断を反映させる仕組みを活用すること。主体的な意見や判断には「責任」もついてくるよ。



なるほど~



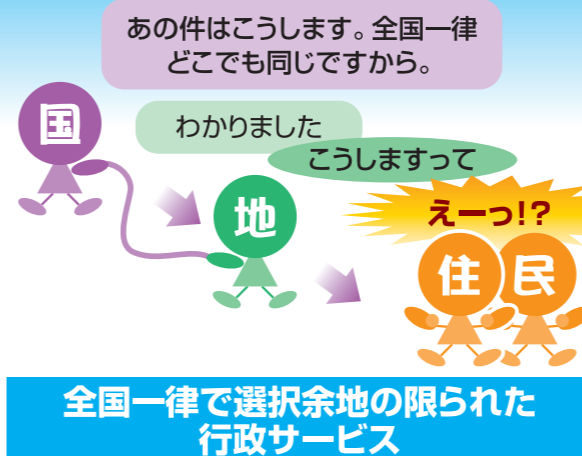
それでは「地方分権改革」が進むと、具体的に何が変わるのかを見てみよう!



いままで

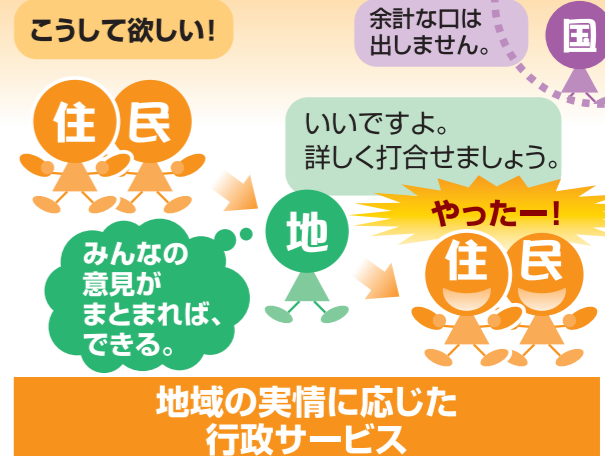
地域の行政サービスはどうなるの?

地 地方自治体

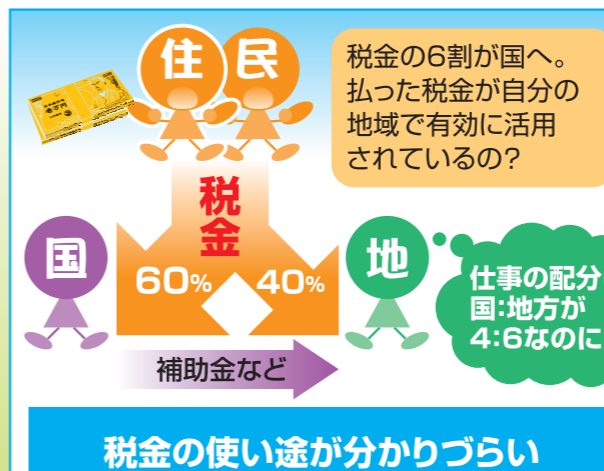


国の関与の見直し・事務権限の移譲
・国の出先機関の見直し

分権型社会



税金の使われ方は?



税財源の移譲
地方財政の強化

